BD/DVD

セットアップガイド

BRD-UM2S

I-O DATA

B-MANUJ200696-01

この度は、「BRD-UM2S」（以下、本製品と呼びます。）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用の前に【本書】をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いいたします。

動作環境の確認

	Blu-ray Disc（ブルーレイディスク）映像編集・再生※1時	Blu-ray Disc（ブルーレイディスク）データ書込時/DVD/CDディスク使用時
対応機種※1	USB 2.0※3ポートを搭載したDOS/Vマシン	
対応OS	Windows Vista™※32bitOS、Windows XP Service Pack 2	Windows Vista™※32bitOS、Windows XP Service Pack 2、Windows 2000 Professional Service Pack 4
搭載CPU	Pentium 4 2.8GHz以上	Pentium 4 1.8GHz以上
メモリ	512Mバイト以上（1Gバイト以上推奨）	512Mバイト以上
ハードディスク	空き容量 30Gバイト以上（Blu-ray映像編集時は60Gバイト以上推奨）	
ディスプレイ	1024×768ピクセル以上の解像度	
インターネット	本製品をご利用の際には、インターネット接続環境が必要です。	
対応メディア※4	●B D：BD-R、BD-RE※5、BD-ROM ●DVD：DVD-R※6、※7、DVD+RW、DVD-R※7、※8、DVD-RW、DVD-RAM※9、DVD-ROM ●C D：CD-R、CD-RW、CD-ROM	

推奨メディア※10

メディア	メディアの速度	メーカー名
1層BD-R	2倍速	TDK、Panasonic、日立マクセル
2層BD-R	2倍速	Panasonic
1層BD-RE	2倍速	TDK、Panasonic、日立マクセル
2層BD-RE	2倍速	Panasonic
1層DVD+R	16倍速（8倍速書き込み）	太陽誘電、日立マクセル、リコー
	8倍速	太陽誘電、日立マクセル、リコー
	4倍速	太陽誘電、日立マクセル、三菱化学、リコー
2層DVD+R※11	2.4倍速（最大4倍速書き込※13）	日立マクセル、三菱化学
	2.4倍速	リコー
DVD+RW	8倍速	日立マクセル、リコー
	4倍速	日立マクセル、三菱化学、リコー
1層DVD-R	16倍速（8倍速書き込み）	太陽誘電、日立マクセル
	8倍速	太陽誘電、日立マクセル
	4倍速	太陽誘電、日立マクセル、三菱化学
2層DVD-R※11	4倍速	三菱化学
DVD-RW	6倍速	ビクター、日立マクセル、三菱化学
	4倍速	ビクター、日立マクセル、三菱化学
DVD-RAM※12	5倍速	Panasonic、日立マクセル
	3倍速	Panasonic、日立マクセル
CD-R	太陽誘電、三菱化学	
CD-RW	三菱化学	

ご注意

- ●本製品で書込みをおこなったBDメディアは、カートリッジタイプのBD-REメディアを使用するレコーダーでは使用できません。
- ●DVD+R、DVD+RW、DVD-R、DVD-RWメディアで作成したDVDビデオは、既存のプレーヤー、対応のゲーム機で再生可能ですが、一部再生できない機種があります。
- ●BDメディアで作成したBDコンテンツは、BDプレーヤー、対応のゲーム機で再生可能ですが、一部再生できない機種があります。
- ●上記の条件を満たした場合でも、環境やメディアの品質によっては、ドライブの最大性能を発揮できない場合があります。

本製品は情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づく製品です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI

※1 より詳しい対応機種情報を対応製品検索エンジン（PIO）にてご案内しております。
http://www.iodata.jp/pio/

※2 市販のBlu-rayディスクを再生する際には、以下の環境が必要です。
●OS：Windows XP Service Pack 2 ※Windows Vista™で市販のBlu-rayディスクを再生する際には、[WinDVD]のアップデートが必要です。
●CPU：Pentium D 930（3GHz）以上、Core 2 Duo E6400（2.16GHz）以上
●メモリー：1Gバイト以上
●チップセット：i945/955/965/975
●以下の条件を満たしたグラフィックアクセラレータボード
・PCI-Express接続
・NVIDIA社製GeForce 6600/6800/7600/7800を搭載
・ビデオメモリー：256MB以上を搭載
（デジタル接続の場合）HDCPに対応したDVIもしくはHDMIコネクターを搭載したディスプレイ
※アナログ接続での再生は2010年まで

※3 パソコン本体に標準で搭載されているUSB 2.0準拠で、ご利用のOSに対応したドライバがインストールされている必要があります。
（Microsoft社製 USB 2.0ドライバ（機能：機能USB 2.0インターフェイスには対応しておりません。

※4 ●書き込みは12cmメディアのみ対応しております。
●BD・DVD・CDへの書き込みを行う際には、各々の書き込み速度に対応したメディアが必要です。

※5 カートリッジタイプのBD-REメディアには対応しておりません。

※6 2層DVD+Rメディアにてマルチセッションにて書き込みを行った場合、他のドライブでは最初のセッションのみ読み込むことができます。

※7 2層DVD±Rメディアに、「B’s CLIP」にて書き込みを行った場合、他のドライブで読み書きできません。

※8 2層DVD-Rメディアへの書き込みは、ディスクアットワンスのみ対応しております。

※9 カートリッジから取り出し不可能なメディア（TYPE I）および2.6GバイトDVD-RAMのメディアには対応しておりません。

※10 ●推奨メディア以外を使用した場合は、メディアの品質により正常に書き込みできないことがあります。
●最新の情報は、弊社ホームページにてご確認ください。

※11 8倍速メディアへの書き込みには対応しております。

※12 2倍速以下のメディアは読み込みのみ対応しております。

※13 弊社では記載の倍速メディアにてメディアの倍速を超える高速の書き込みを確認しておりますが、全ての環境についてメディアの倍速を超える高速の書き込みを保証するものではありません。また、メディアメーカーへの各製品でのメディアの倍速を超える高速の書き込みに関するお問い合わせはご遠慮ください。

1.準備しよう

内容物を確認します

□ にチェックをつけながら、ご確認ください。
万が一不足品がございましたら、弊社サポートセンターにご連絡ください。

- □ ドライブ（1台）
- □ ACアダプター（1個）
- □ USBケーブル（1本）
- □ 縦置きスタンド（1個）
- ☑ BD/DVDセットアップガイド（本書/1枚）
- □ BD Proツールズコレクション for BRD-M2S(CD-ROM/1枚）
- □ Uleadソフトウェア CD（CD-ROM/1枚）
- □ Ulead DVD MovieWriter CPRM対応キーダウンロードのご案内（1枚）
- □ ゴム足（8個）【縦置用：4個/横置用：4個】
- □ ハードウェア保証書（1枚）

シリアル番号（S/N）をメモします

シールサンプル▶

シリアル番号（S/N）は本製品背面に貼られているシールに印字してある12桁の英数字です。
（例：A0A0000000XX）
シリアル番号（S/N）を下の枠にメモしてください。

型　番 BRD-UM2S
シリアル番号 A0A0000000XX
定　格：DC5V 1.5A DC12V 1.0A
製 アイ・オー・データ機器

シリアル番号（S/N）は以下の際に必要な場合があります。

最新版ファームウェア等のダウンロード　http://www.iodata.jp/lib/
ユーザー登録　http://www.iodata.jp/regist/

ハードウェア保証書について

「ハードウェア保証書」と「保証規定」は本製品の箱に印刷されております。本製品の修理をご依頼いただく場合に必要となりますので、大切に保管してください。

各部の名称

ドライブ前面



アクセス/Powerランプ
電源ON時：青色に点灯します。
読み込み時：青色に点滅します。
書き込み時：オレンジ色に点滅します。

イジェクトボタン
押すとトレイが開きます。

注意
●アクセスランプの点滅中は、パソコンをリセットしたり、電源を切ったりしないでください。読み取りの際にないため、データが消える恐れがあります。
●イジェクトボタンを押した際は、すぐ後を離してください。パネルやトレイに指を挟む危険があります。

ドライブ背面



電源コネクター
添付のACアダプターを接続します。

電源スイッチ
ON ⇔ AUTO ➡ OFF
電源を上のように切り替えます。
※[AUTO]（電源連動機能）については右記「電源連動機能とは？」をご覧ください。

USBコネクター
添付のUSBケーブルを接続します。

製品仕様

ドライブ名	SW-5582(OEM供給元：パナソニック四国エレクトロニクス株式会社)
インターフェイス仕様	USB 2.0
設置条件	設置方向：水平、垂直（垂直は12cmメディアのみ対応）
ディスクローディング方式	トレイタイプオートローディング
データバッファサイズ	8Mバイト
書き込みエラー回避機能	搭載

最大書き込み/読み込み速度

	B D			C D			
	1層/2層-R	1層/2層+RE	1層/2層ROM	-R	-RW	ROM
書き込み	×2	×2	—	最大×24	16	—
読み込み	×2	×2	×2	最大×32	24	32

	DVD								
	1層+R	2層+R	+RW	-R	2層-R	-RW	RAM	ROM
書き込み	×8	×4	×8	×8	×4	×6	×5	—
読み込み	×8	×8	×8	×8	×8	×8	×5	×16

※ BD×1の転送速度はDVDの×3.25に相当します。

適合フォーマット
●B D：BD-ROM
●DVD：DVD-Video、DVD-ROM
●C D：CD-ROM mode 1、CD-ROM mode2(form 1、form 2)、CD-Extra、CD-I、PhotoCD、Video CD、CD-DA、CD-TEXT

平均アクセスタイム	●BD-ROM　：210ms　●CD-ROM　：160ms ●DVD-ROM：170ms　●DVD-RAM：220ms
書き込み方法	●BD-RE：Random Access ●BD-R：Sequential Recording、Random Recording、Sequential Recording with Logical Overwrite ●DVD+R：Sequential write ●DVD+RW：Random write ●DVD-R：Disc at Once、Incremental ●DVD-RW：Disc at Once、Incremental、Restricted Overwrite ●DVD-RAM：Random write ●CD-R/RW：Disc at Once、Session at Once、Track at Once
電源仕様	AC 100V±10%、50/60Hz
定格電流	5V：1.5A、12V：1.0A
動作温度	+5～+35℃（パソコンの動作する温度範囲であること）
動作湿度	20%～80%（結露なきこと）
外形寸法	170(W)×270(D)×50(H)mm（突起部分を除く）
質量	約1.7kg（ACアダプターを除く）

2.接続しよう

本製品をパソコンに接続します

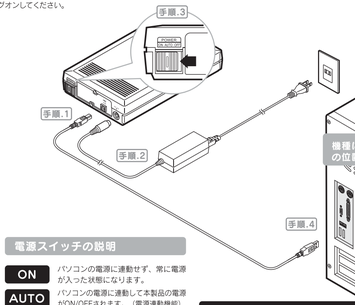
※セットアップを行う場合には、管理者権限でログオンしてください。

手順.1
本製品に添付のUSBケーブルをつなぎます。

手順.2
添付のACアダプターを本製品と電源コンセントにつなぎます。

手順.3
電源を入れます。

手順.4
パソコンのUSBポートにつなぎます。
本製品はOSに標準で搭載されているドライバを使用するため、ドライバをインストールする必要はありません。



電源スイッチの説明

ON	パソコンの電源に連動せず、常に電源が入った状態になります。
AUTO	パソコンの電源に連動して本製品の電源がON/OFFされます。（電源連動機能）
OFF	パソコンの電源に連動せず、常に電源がOFFした状態になります。

ご注意
本製品をUSB 2.0で動作させるには、USB 2.0インターフェイスに接続する必要があります。

電源連動機能とは？

パソコンの電源のON/OFFに連動して、ドライブの電源がON/OFFされる機能です。ただし、添付のケーブルを使用し、ドライブの電源が[AUTO]の状態の時のみ有効です。
この機能により、パソコンの電源を切ると同時に、ドライブの電源も切れます。
また、次回パソコンの電源を入れると同時に、ドライブの電源も入るので手間が省けます。



ご注意
電源連動機能により、本製品の電源スイッチをAUTOにした時点では本製品のPowerランプは点灯しません。起動済みのパソコンに接続するとPowerランプが点灯します。電源連動機能を切るには、電源スイッチをONまたはOFFにします。

縦置きにする場合

手順.1
添付の縦置きスタンドの裏に、添付のゴム足を4枚貼り付けます。



手順.2
イジェクトボタンが下になるように立て、縦置きスタンドを本体に取り付けます。

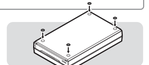


手順.3
イジェクトボタンが上になるように縦置きにします。



横置きにする場合

ドライブの底に添付のゴム足を4枚貼り付けます。



注意
●本製品にメディアを入れたまま移動したり付けたりしないでください。本製品やメディアを破損します。
●縦置き時、8cmメディアは使用できません。

3.確認しよう

正常に使用できるかを確認します

Windowsを起動して【マイコンピュータ】（または【コンピュータ】）を開き、本製品のドライブアイコンが追加されていることを確認します。アイコンが追加されていれば、本製品をご使用いただけます。



↑（画面例：Windows XP）

アイコンの追加を確認
Windows Vista™の場合
Windows 2000の場合
※ドライブ文字（番号）は環境によって異なります。

こんなときには

アイコンが追加されていない場合

●【表示】メニューの【最新の情報に更新】をクリックしてみてください。
●ケーブルの接続が正しく行われていることをご確認ください。（パソコンの電源を切り、再度ケーブルを抜き差ししてください。）また、別のUSBポートに挿し直してみてください。
●添付のCD-ROMに収録されているQ&AのFQ01「本製品をパソコンに接続しても認識しない（本製品のアイコンがマイコンピュータに表示されない）」をご参照ください。

「新しいハードウェア」画面が表示されたまま消えない場合

［キャンセル］ボタンをクリックし、ケーブルをパソコンから取り外します。パソコンを再起動して、取り外したケーブルをパソコンにつなぎます。

その他ご注意

●ケーブルを抜くときは、ケーブル部分を引っ張らないで、コネクターを持って抜いてください。
●一部のウイルス対策ソフトがインストールされている場合には、動作が不安定になる場合があります。
●本製品は、パソコンの省電力機能には対応しておりません。
●本製品を長時間使用した場合は、一旦メディアを取り出し数分おいてから書き込みを行ってください。

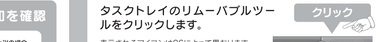


4.その他

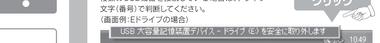
取り外し手順について

本製品をパソコン起動中に取り外す場合の手順を説明します。
（画面例：Windows XP）

手順.1
タスクトレイのリムーバブルツールをクリックします。
表示されるアイコンはOSによって異なります。



手順.2
本製品の表示をクリックします。
複数のUSB機器を接続している場合は、ドライブ文字（番号）で判断してください。
（画面例：Eドライブの場合）



手順.3
メッセージを確認します。
（Windows XP以外の場合は［OK］をクリックします。）



手順.4
パソコンのUSBポートから、本製品のUSBケーブルを取り外し、本製品の電源を切ります。
ただし、電源スイッチが[AUTO]の場合、自動的に電源が切れます。（Windows Vista™ではパソコンからUSBケーブルを抜くまで、電源は切れません。）

こんなときには

Windows Vista™でユーザーアカウント制御の画面が表示された場合

［続行］ボタンをクリックしてください。



「取り外しができない」という内容のメッセージが表示された場合

使用しているソフトウェアをすべて終了してから、本手順をおこなってください。
※それでも同じメッセージが表示された場合、パソコンの電源を切ってから本製品を取り外してください。

裏面へお進みください。

てっトリ早く Blu-ray（ブルーレイ）を使ってみよう

用途に応じて添付ソフトウェアを選択してください。

Blu-rayに映像を保存したい	DVDビデオを作りたい	Blu-rayの映像を書き込みたい	DVDを再生したい	データDVDを作りたい	Blu-rayにデータを書き込みたい
Ulead BD DiscRecorder 2.5 Ulead	DVD MovieWriter 5 Ulead	Windows Vista™の場合 InterVideo WinDVD BD 5 InterVideo	Windows Vista™の場合 InterVideo WinDVD 5 InterVideo	GOLD9 BASIC B's	B's CLiP B's
BDレコーディングソフト	DVDオーサリングソフト	Blu-ray Disc再生ソフト	DVD再生ソフト	データライティングソフト	パケットライトソフト
Blu-ray Discへ映像ファイルを書き込んだり、デジタルビデオカメラから直接レコーディングする際に使用します。 ※Windows 2000非対応	既存の映像ファイルやDVカメラの映像を使って、DVDビデオを作成する際に使用します。	作成したオリジナルBlu-ray Discの映像や市販のBlu-rayを再生することができます。 ※Windows 2000非対応 ※Windows Vista™の市販のBlu-ray の再生には専用アップデートに対応予定。	市販のDVDや作成したDVDビデオ、または家庭用DVDレコーダーで録画されたDVD±R/RW、DVD-RAMを再生することができます。 ※Windows Vista™のCPRMの再生には専用アップデートに対応予定。	通常のデータ(BD/DVD/CD)や簡易化(DVD/CD)を作成することができます。 ※他のデータライティングソフトやパケットライトソフトがインストールされている場合には、本ソフトをインストールする前にそれらのソフトをアンインストールしてください。	インストールすると、Blu-ray Discメディアにドラッグ&ドロップでデータを書き込むことができます。 ※他のデータライティングソフトやパケットライトソフトがインストールされている場合には、本ソフトをアンインストールしてください。

これらのソフトは、「Uleadソフトウェア(CD)」CD-ROMを入れると一度にインストールされます。

「BD Pro ツールズコレクション for BRD-M2S」CD-ROMに収録されています。

BDに映像ファイルを保存する手順については

デジタルビデオカメラから直接BDに映像を保存する手順については

DVDビデオの作成手順については

作成したBlu-rayの映像を再生する手順については

DVDビデオの再生手順については

DVDメディアにデータを書き込む手順については

BDメディアにデータを書き込む手順については

お記載Blu-rayを再生しよう!をご覧ください。

お記載DVDビデオを焼き込もう!をご覧ください。

お記載DVDにデータを書き込もう!をご覧ください。

添付のCD-ROMに収録されているオンラインマニュアルをご覧ください。

❶「BD Pro ツールズコレクション for BRD-M2S」CD-ROMを本製品にセットします。
⇒自動でメニューが表示されます。メニューが表示されない場合は、CD-ROMの「Menu.exe」を起動してください。
※ Windows Vista™でユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、「許可」をクリックしてください。

❷「画面で見るマニュアルを読む」ボタンをクリックします。

❸お使いの製品のシリーズ名をクリックし、起動します。

参考 添付の「BD Pro ツールズコレクション for BRD-M2S」CD-ROMにはその他に以下のソフトウェアも収録されています。

EasyBackup SE BD-DATA	**データバックアップソフト**：あらかじめ設定しておくだけで自動的にデータのバックアップを取ることができます。 (ネットワーク製品(据え)はEasyBackupの機能限定版です。) ※Windows Vista™非対応
Drag-to-Disc BD-DATA	**ドラッグコントロールユーティリティ**：パソコンデスクトップ上にドラッグ&ドロップ操作でデータを書き込むことができます。 (ネットワーク製品(据え)はEasyBackupの機能限定版です。) ※使用方法については「QuickDrive」の画面で見るマニュアルをご覧ください。[スタート]→[すべてのプログラム]→[QuickDrive LE]→[インテリマニュアル]から起動します。
画面で見るマニュアル for BRD-M4S (またはBRD-M2S) BD-DATA	本製品の「基本操作」や「DVDビデオの作り方」、「困ったときには」などについて説明しています。

用途に応じて必要なソフトウェアをインストールしてください。

※収録されているソフトをお使いの場合には、Windowsを管理者（Administrator）権限でログオンしてください。

❶ 添付のCD-ROMを本製品に挿入します。

❷ メニューが表示されたら[インストールする]をクリックします。

❸ インストールしたいソフトをクリックします。

※ Windows Vista™でユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[許可]をクリックしてください。

[BD Pro ツールズコレクション for BRD-M2S] の場合は

[Uleadソフトウェア(CD)] の場合は ❹ へ

❹ 表示に従ってインストールを進めます。

❺ インストールが完了します。
（再起動が必要な場合があります。）

参考 **シリアル番号/CD-Key**
- WinDVD：
- WinDVD BD：
- WinDVD 5 for OEM：

こんな時には…
インストールするソフトウェアによっては、シリアル番号入力画面が表示される場合があります。その場合、シリアル番号は自動的に入力されますので、そのまま次の画面に進んでください。

てっトリ早く Blu-rayに映像を保存しよう

❶ 動画ファイルを準備します。
- TVキャプチャー
- DVキャプチャーデバイス
- DVカメラ

※動画ファイルの作成方法やDVカメラとの接続方法はお使いのキャプチャー機器・DVカメラの取扱説明書をご参照ください。

❷ DVD MovieWriter 5 BD versionを起動します。

[DVD MovieWriter 5 BD version]のアイコンを **ダブルクリック**

❸ 表示されたメニューから[ビデオディスク]→[新規プロジェクト]の順にクリックします。

❹ [Blu-ray]にチェックをつけ、[OK]ボタンをクリックします。

❺ [メディアの追加]枠の中からをクリックします。

❻ ビデオに書き込みたいファイルを選択します。

ここでDVD画質の映像ファイルを選択すると長時間の映像ライブラリBDを作成することができます。

❼ [次へ]ボタンをクリックします。

❽ 本製品にBDメディアを挿入します。

❾ [書き込み]をクリックし、書き込みを開始します。

こんな時には…
■下記のようなメッセージがでた・・・

⇒初めてBDメディアを使う場合には、メディアの初期化が必要です。
[OK]ボタンをクリック後、次の手順で初期化をおこなってください。

1. [ディスクの初期化]をクリックします。
2. [OK]ボタンをクリックします。
3. [OK]ボタンをクリックします。

完成!

困った時には…
添付「BD Proツールズコレクション for BRD-M2S」のCDメニューより[Q&A]をご参照ください

それでもわからなかった…
ソニーエムディエムジャパン インフォメーションセンター
045-226-1966
受付時間：10:00～12:00/13:00～17:00
月～金曜日(祝日を除く)

てっトリ早く Blu-rayを再生しよう

❶ WinDVD BDを起動します。

[InterVideo WinDVD BD for I-O DATA]アイコンを **ダブルクリック**

❷ 再生するBlu-ray Discを挿入します。

挿入すれば、自動的にBlu-rayの再生がスタートするよ。

ここではWinDVD BDを利用して、Blu-rayの映像を再生する手順を説明します。Windows Vista™でWinDVDを利用した場合も同じ手順で再生できます。（画面は異なります。）

こんな時には…
■Windows XPで右のようなウインドウが表示される
→キャンセルをクリックします。

困った時には…
添付「BD Proツールズコレクション for BRD-M2S」のCDメニューより[Q&A]をご参照ください

それでもわからなかった…
インターセディアジャパン テクニカルサポート
045-226-3899
受付時間：09:30～12:00/13:30～17:00
月～金曜日(祝日を除く)

てっトリ早く BDにデータを書き込もう

※ ❶～❼の手順はBD-REメディアに初めてデータを書き込む際にのみ必要です。
※DVD±RW/RAM、CD-RWメディアも同様の手順でデータを書き込むことができます。

❶ BD-REメディアを本製品に挿入します。

❷ マイコンピュータを開き、本製品のアイコンを右クリック→[B's CLIPフォーマット]をクリックします。

❸ 本製品を選択し、[次へ]をクリックします。

❹ [次へ]をクリックします。

❺ 必要に応じて[ボリュームラベル]、[UDFバージョン]を設定し、[完了]をクリックします。

❻ [OK]をクリックします。
⇒フォーマットが始まります。

❼ フォーマットが完了すると以下の画面が表示されますので、[OK]をクリックします。
これでBD-REメディアへドラッグ&ドロップするだけでデータを書き込むことができます。

てっトリ早く データDVDをつくってみよう

ここではB's Recorder GOLDを利用して、DVDメディアにデータを書き込む手順を説明します。

❶ B's Recorder GOLD9 BASICを起動します。

[B's Recorder GOLD9]アイコンを **ダブルクリック**

❷ 表示されるメニューから[データCD/DVD]を選択します。

❸ 上段で保存したいデータを選択して下段にドラッグ&ドロップします。

デスクトップ上やエクスプローラから直接ドラッグ&ドロップすることもできます。

❹ メディアを本製品に挿入して[開始]をクリックします。

こんな時には…
■DVD+R/-R/+RWメディアを挿入した5下記のようなメッセージが出た…
※DVD-ROMの場合

❺ 書き込みを開始します

完成!

困った時には…
添付[CD-ROMのメニューより[Q&A]をご参照ください

それでもわからなかった…
ソニーエムディエムジャパン インフォメーションセンター
045-226-1966
受付時間：10:00～12:00/13:00～17:00
月～金曜日(祝日を除く)

注意 B's Recorder GOLD + B's CLiPを使用する際のご注意

- 最高7倍速の書込(すべてにくださいあいまい)、無効(オフ)にしないで書き込み&ライト、音楽CDへの実際の書き込み速度は、ご使用のドライブの仕様によります。
- マルチセッション、マルチボーダー（セッション毎に管理データを追記することです。）追記したメディアの使用済み容量を知りたい場合は、「B's Recorder GOLD のメディア」メニューの「情報」を選択してください。エクスプローラーの「プロパティ」メニューの「プロパティ」を選択すると表示される「使用領域」で2.05 GBの倍率により書き込むことはできません。
- 2倍DVD±R メディアにマルチセッションで書き込みを行った場合、他のドライブで追記ができないことがあります。
- 2倍DVD±R メディアに「B's CLiP」で書き込みを行った場合、他のドライブで追記することはできません。
- 一度でも書き込みに失敗した DVD-R/+R CD-R メディアは使用しないでください。正常に書き込みが行われましたと表示されても、DVD+RW/+RW(4×MAX)/DVD-RW メディアは「B's Recorder GOLD」を使用していないものとデータを消去した後にご利用ください。
- 「かんたん」「B's Recorder GOLD」と本製品で書き込みを行ったメディアに追記する場合は、必ず「B's CLiP」と本製品を使用してください。
- 一度「B's CLiP」でフォーマットした DVD+RW/+RW(4×MAX)/DVD-RW メディアを再フォーマットする場合は、「B's Recorder GOLD」や「B's Easy」ていった標準言語しながら、「B's CLiP」で再フォーマットしてください。
- 「B's Recorder GOLD」にてコピー禁止機能付き DVD を作成する場合には、本経済面(推奨メディア)をご使用いただきますようお願いします。BD/DVD/CD-R/RW for VIDEO メディアをご利用ください。
- ハードディスクにつくられたデータを書き込んでから、メディアへの書き込み&ライト速度、書き込みファイルと同じサイズの空き容量メディアライトにお願いください。
- 本製品「GOLD のスピード設定機能のチェック」を有効にしてください。
- 「書換型(ユーザードライブ設定)→高速なドライブ設定」で、転送速度エラー回避機能"をONにしてください。エラー回避機能が無効ONになっているドライブでは、「高速なドライブ設定」を使用しないでください。
- 「B's Recorder GOLD」のBD-RE/DVD-RAMメディアを使用する場合は、